

令和5年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 えんがる商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 付 議 日 令和6年3月28日
3. 開 催 場 所 丸瀬布コミュニティセンター

- (1) 外部有識者 遠軽町商工観光課 課長 大西 公太
遠軽信用金庫丸瀬布支店 支店長 白土 浩一

- (2) 商工会 会 長：伊藤 友彦
副 会 長：山崎 幸治
〃 : 渡部 正騎
青 年 部 長：矢木 濟
事 務 局 長：森 範雄
経 営 指 導 員：宇野 智紀
補 助 員：梶 佑太朗

4. 内 容

事業評価シートを評価委員へ事前送付し意見を賜り、その内容を下記に記載する。

・事務局よりDXセミナーの開催を行わなかった旨の報告があったが、来年度はどう進めていくか委員の皆様と協議を行った。

一部会員は既にスマート農業の着手や金融機関では4月から新たにDXのみならずGXにも着手していている。その中で経営者の高齢化が顕著にでているなかDXの推進は難しいのではないかという意見も上がった。

協議を行った結果、まずはDXの意識醸成を行うためにHPの作成やインスタグラムアカウント取得、グーグルビジネスプロフィールなど誰でも簡単に更新できるものから始められるようにするため、講師を招聘しセミナーを開催することとなった。但しDXの推進を行うという気持ちで挑むと会員の気持ちと乖離してしまうことが予想されるため、敷居の低いところからスタートしていきたいとなった。

・紙媒体による共同広告については、令和5年度旭川近郊に配付されるフリーペーパーへの記事掲載と、遠紋地域への道新朝刊チラシへの折込みを実施した。旭川近郊へ配布した共同広告は効果が非常に高く5%~10%の売上向上に繋がることができた。又、遠紋地域へ配布した共同広告については2%~6%の売上向上に繋がり、どちらの事業も成功といえる結果となった。

令和6年度については、遠軽町の近隣で最大都市の旭川市近郊の新規顧客を獲得するため令和5年度と同様に㈱ライナーネットワークのフリーペーパーへの広告掲載と、オホーツク管内最大都市の北見市近郊の顧客開拓をするために㈱伝書鳩のフリーペーパーへの広告掲載を行うこととなった。

その他の意見として

- ・共同広告掲載時にタウンマップのような簡易的な位置図がわかるものがあった方が観光客はわかりやすいのではないか。
- ・えんがるグルメマップとリンクすることによって、伴走型補助金活用による共同広告に掲載できなかった事業者の補完もできるのではないか。

上記のとおり各有識者から評価・要望等が挙がり、令和5年度経営発達支援計画評価委員会を閉会した。